

令和2年度（2020年度）八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 音楽(1/1枚目)

調査の観点	教育芸術社	教育出版
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・低中高の各学年の目標及び内容をふまえた題材構成になっており、各学年・全学年を通して系統的・発展的に作成している。 ・児童の作品例やワークシート例を示したり、グループ活動時の会話を想定した吹き出しを例示したりするなど、児童が思いや意図をもったり、音楽や演奏のよさを味わいながら聞いたりするために必要な情報を適切に示している。 ・巻頭の「〇年生の学習」は「何を学ぶのか」が分かりやすく、明確である。そのため、1年間の見通しをもって学習に取り組むことができる。 (2)概ね発達段階に配慮している。 ・題材ごとに教材、活動、程度などが柔軟に選択できるようになっており、学習指導計画の作成にあたり各学校や児童の実態に対応できるように配慮している。 ・楽曲や歌詞の内容、音域などについて児童の心身の発達段階に応じた配慮をしている。 ・2年鍵盤ハーモニカの教材が適切である。(指くぐり、指またぎの学習が、3年と重複してはいない) ・合奏曲が、各パートの役割が明確になるような編曲や説明がある。</p>	<p>(1)配慮している。 ・低中高の各学年の目標や内容に対応した題材が系統性と発展性をもって作成している。 ・全学年を通した領域・分野ごとの系統性に基いて教材を配置する等、発達段階に応じた無理のないステップアップや学力の定着に配慮している。 ・以前の学習を振り返るマークを施す等、振り返りと積み重ねに配慮している。 ・教科書右上に共通事項・新出記号等を示しており、見通しをもって学習が進められる。 ・外国語の歌があり、以後の学習との連携に配慮している。 (2)概ね発達段階に配慮している。 ・リズム、音域、歌詞の内容など各学年にふさわしい教材が見極められ、配列も発達段階にふさわしく系統的に配置している。 ・発声練習が発達段階に応じて掲載している。 ・輪唱やパートナーソングの教材が充実しており、発達段階に応じた歌唱指導がしやすい。 ・ひとつの旋律に対し、異なる伴奏(3種類)があり、曲想の違いを楽しみながら演奏できる教材がある。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)工夫している。 ・文科省唱歌では、児童が主体的な学びにつながるような吹き出しや説明になっている。 ・児童同士の言語活動の内容が充実するように、学習のねらいの達成に向けて、考えてほしい内容や発言の例を吹き出しで示している。 ・課題を児童の実態に合わせて設定することができ、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。また、より進んだ学習活動ができるよう、チャレンジマークの課題を掲載している。 ・吹き出しに発言の例が示してあり、言語活動のきっかけになる。 (2)配慮している。 ・一つの単元の曲数が多いので、軽重をつけ、効果的に組み合わせることができる。 ・3年生1学期のリコーダー学習でソラシドレまで扱うことができるようになっており、児童の習熟に応じて発展的に取り組むことができる。 ・短い時間でできると思われる音楽づくりの活動が記載されており、活動に取り組みやすい。</p>	<p>(1)工夫している。 ・文科省唱歌では、気付かせたい旋律の特徴や演奏の工夫などについて、すでに記述されている。 ・教科書右上に共通事項・新出記号等を示しており、児童がメモを取れるようになっていて主体的で深い学びの実現につなげられる。 ・運指表や【音楽のもと】という音楽の諸要素の説明など、巻末の資料が充実して主体的な学びにつながる。 ・「まなび合う音楽」等のコーナーにより、児童が考えるきっかけを示している。 (2)配慮している。 ・一つの単元の曲数が少なく設定されており、行事等によって効果的に補充できる。 ・3年生1学期のリコーダー学習でソラシドレまで扱うことができるようになっており、児童の習熟が図れる。 ・音楽づくりの教材が系統的で、様々なアイデアがあり、工夫している。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・目次が挿絵から入ることができるので、児童が目標を理解できる。 ・単元ごとの表現曲鑑賞曲などがセットになっている。 ・新出事項が教科書の下に記載されており、あまり目立ち過ぎないようにしており、児童の発想を大切にしている。 ・UDA認証になっている。 ・視覚的な情報を一度に処理することが困難な児童への配慮としても工夫がある。(呼びかけと答え～囲みの色と語りを変えている。) (2) ・写真と楽譜が見開きのページで簡潔にまとまっていて見やすい。また、図形楽譜(絵符)があり、旋律を視覚的に捉えやすい。 ・見開きが使いやすい。</p>	<p>(1)配慮している。 ・教科書のサイズが大きくなり、児童の視覚負担が軽減されている。 ・折り込みページがある。 ・読みやすい文字や表現である。 ・CUDA認証になっている。 ・リコーダーの運指表が折り込みになっていて、楽譜と一緒に見ることができる作りである。 ・セロハンシートのページがある。 (2) ・セロハンシートを活用して、児童が音符や記号等を確認しながら学習できるようになっている。また、写真が大きく見開きのページがあり、情景を思い浮かべて歌唱表現に生かしやすい。 ・薄く、軽く、児童が使いやすく軽量化されている。 ・「おぼろ月夜」「茶摘み」等の写真から、曲のイメージがつかみやすい。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすいするための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)配慮している。 ・目次の色分けなど見やすい。 ・ワークシートとして教科書に直接書き込める。 ・キャラクターがポイントを押さえてくれていて、分かりやすい。 (2)配慮している。 ・題材によってQRコードがついており、児童が自分で学べる工夫がしてある。インターネットを使い、分かりやすい資料の提示ができる。作曲者について、お囃子などについて、曲についてを調べることができ、家庭学習に生かすことができる。 (3)配慮している。 ・オリンピックに関連する記述があり、オリンピック開催に向けて児童の関心を高める配慮がしてある。 ・とんびやエビ、花などの写真や挿絵があり、様々な地域に住む児童にもイメージをもたせやすい。</p>	<p>(1)配慮している。 ・巻末のリコーダーの運指表が引き出せる形になっている。 ・1年鍵盤ハーモニカは、教材の量的に使用しやすい。 ・「音楽のもと」のページは、分かりやすい言葉で書いてあり、教員が児童に説明する際使用しやすい。 (2)配慮している。 ・題材によって「学びリンク」がついており、児童が自分で学べる工夫がある。インターネットを使い、分かりやすい資料の提示ができる。作曲者について、お囃子などについて、曲についてを調べることができ、家庭学習に生かすことができる。 (3)配慮している。 ・オリンピックに関連する記述があり、オリンピック開催に向けて児童の関心を高める配慮がしてある。 ・とんびやエビ、花などの写真や挿絵があり、様々な地域に住む児童にもイメージをもたせやすい。</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>・『わらべ歌』教材が、3年生のリコーダーの導入曲として、児童にとって親しみやすくなっている。また、それを使って歌唱曲へ発展させることができるような工夫をしている。 ・表紙が6年間を通して、6冊並べると一枚の絵画のようになっており、6年間音楽の教科書を大切にさせる配慮がしてある。</p>	<p>・3年生以上は教科書のサイズを大きくし、軽量化している。 ・表紙において、その学年で学ぶ内容が挿絵になっており、1年間を振り返るよう工夫している。</p>